



NEWS

2009 No.218

5月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

新車購入補助の実施で景気浮揚に期待

環境性能が良い新車の購入ならばどれでもOK ただし、車齢13年超車の新車代替は 廃車手続きを忘れずに

経済対策で新車購入時の補助が実施されます。

乗用車ばかりでなくトラック・バスの重量車も含むすべての自動車対象です。4月に始まった環境性能車減税と合わせて「プラス100万台」の新車販売が見込まれるそうで、景気浮揚のきっかけになることが期待されます。

新車購入時の補助金は、政府が4月に打ち出した総額15兆円の「新たな経済対策」に盛り込まれました。補助は登録車、軽自動車の乗用車・商用車、さらにトラック・バスの重量車も対象となりますが、初度登録・届け出から13年を超えている車齢13年超車の場合とそうでない場合とで補助金額が違います。

最大のメリットは、車齢13年超車を廃車

して低燃費・低公害の新車を購入するときです。登録車で25万円、軽自動車で12万5千円の補助が受けられます。廃車をせずに下取りにすると、補助は減額されます。

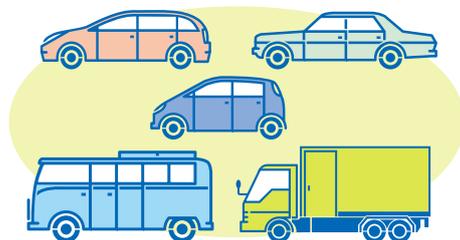
車齢13年超車は新車購入時に廃車する。ここが1番目のポイントです。

購入補助は**環境性能が良い新車であればすべてが対象**になります。ここが2番目のポイントです。

車齢13年超で廃車を伴う場合は、「新長期規制適合車」を購入すれば、大型180万円、中型80万円、小型40万円の補助になります。それ以外の新車購入に関しては、平成23年度燃費基準達成車であること、NOxまたはPMを基準値より10%以上低減した「低排出ガス認定車」(☆☆1ツ星)を条件に大型90万円、中型40万円、小型20万円の補助が受けられます。

補助金は、**4月10日までさかのぼって適用**されます。ここが3番目のポイントです。4番目のポイントとして現金、ローン、割賦またはクレジット、リース、レンタルなど**どの購入方法でも対象**になります。補助金交付の対象は基本的に新車を購入した「使用者」で、リース、レンタカーは「所有者」が交付の対象になります。

古い車両を環境性能の良い新車に切り替えることを促進する補助制度は、環境対策と景気対策の両方をにらんで実施することにしたものです。2008年度の新車販売は470万台で昭和45年度の水準にまで沈み込んでしまいました。何もしなければ、さらに落ち込むとの予想もありました。年間新車販売プラス100万台、今回の補助事業を活用して景気浮揚につなげたいものです。



達成)以上が条件で、「同+20%」「同+25%」も当然含まれます。トラック・バスの重量車は、①GVW12t(大型)クラス②GVW8t(中型)クラス③GVW3.5t(小型)クラスで金額が違います。また、乗用車と同様に車齢13年超で廃車を伴う場合とそれ以外の新車購入により補助の金額が異なります。

車齢13年超で廃車を伴う場合は、「新長期規制適合車」を購入すれば、大型180万円、中型80万円、小型40万円の補助になります。それ以外の新車購入に関しては、平成23年度燃費基準達成車であること、NOxまたはPMを基準値より10%以上低減した「低排出ガス認定車」(☆☆1ツ星)を条件に大型90万円、中型40万円、小型20万円の補助が受けられます。

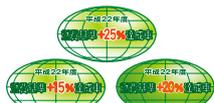
補助金は、**4月10日までさかのぼって適用**されます。ここが3番目のポイントです。4番目のポイントとして現金、ローン、割賦またはクレジット、リース、レンタルなど**どの購入方法でも対象**になります。補助金交付の対象は基本的に新車を購入した「使用者」で、リース、レンタカーは「所有者」が交付の対象になります。

古い車両を環境性能の良い新車に切り替えることを促進する補助制度は、環境対策と景気対策の両方をにらんで実施することにしたものです。2008年度の新車販売は470万台で昭和45年度の水準にまで沈み込んでしまいました。何もしなければ、さらに落ち込むとの予想もありました。年間新車販売プラス100万台、今回の補助事業を活用して景気浮揚につなげたいものです。

これが助成対象車の目印!



車齢13年超の乗・商用車はこのステッカー車へ代替を



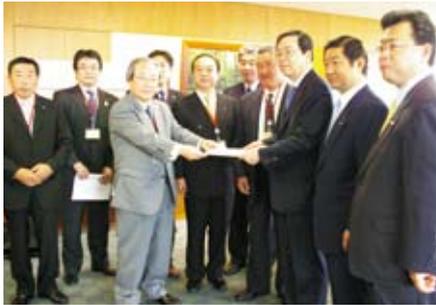
廃車を伴わない代替はこの2つを目印に。税金も減額される



車齢13年超重量車は新長期規制適合車への代替が

効率的な資源循環システムと中古部品販売拡大に行政支援を 他団体と足並みをそろえて 斉藤環境大臣などに要望書提出

NGP協同組合は初めて、中古部品の拡販施策を進めてもらうことや自動車リサイクル法の見直しなどで直接、行政に対する陳情活動を行いました。業界のリーダーとして車社会への貢献に努めています。



斉藤環境大臣には大臣室で直接要望書を手渡した

NGP協同組合は4月8日、NPO法人世界、東日本自動車解体処理協同組合、NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合などとともに斉藤鉄夫環境大臣、経済産業省の谷合正明大臣政務官らに自動車リサイクル関連の効率化支援やリサイクル部品の販売拡大につながる産業施策の推進を求める要望書をまとめ、提出しました。NGP協同組合からは大橋岳彦理事長、

青木勝幸会長、宮地康弘専務理事、上松倉人相談役、多田幸四郎・株式会社NGP相談役が参加しました。また坪干代志副理事長も東日本協同組合の理事長の立場で出席しました。

要望書の提出は、去年の定時総会の懇親会に斉藤環境大臣をお招きし、使用済自動車が希少金属をはじめとする貴重な資源の塊であることを訴えたことがきっかけです。NPO世界がまとめ役となり、他団体とともに研究会を開いて、使用済自動車の素材を効率的な資源の循環システムを作るにはどうすれば良いか、自動車リサイクル部品の利用拡大するにはどうすべきかをまとめ、要望しました。使用済自動車ガイドラインの作成やリサイクル料金も新車時預託だけにしてほしいなどの自動車リサイクル法見直しに関連した要望も合わせて提出しました。行政担当者からは「貴重な意見として受け止め、検討をしたい」との答えが返ってきました。



谷合政務官への陳情は場所を変えて行われた

自動車リサイクル事業者の団体が足並みをそろえ、直接、所管する大臣に要望するのは初めてのことです。斉藤環境大臣には大臣室で要望書を手渡しました。大臣から「業界がひとつになって、足並みをそろえて要望を提出してほしい」との注文がありました。これに対して大橋理事長は「本日お伺いしたのも、その第一歩と考えております。今後業界として足並みを揃えられるよう努力してまいります」と即答しました。

また、懇談の席上、NGP協同組合の上松相談役は中古車業界の立場を代表して、「新車の助成措置で中古車販売が難しくなる状況も起こります。助成措置に反対はしませんが、政策的なバランスを考えていただきたい」などと、要望書にはない事柄を斉藤環境大臣に訴えました。

業界をまとめ、他の団体とともに自動車リサイクル事業者の社会的地位向上につながる活動も、NGP協同組合に問われるようになっています。

これぞトキ色! 「トキ」をカメラに収めました



佐藤商事・佐藤正晴代表取締役が撮影したトキ。美しさに感激したようだ

写真は特別天然記念物の「トキ」です。新潟県村上市のNGP協同組合員、佐藤商事の佐藤正晴代表取締役が4月2日午後、村上市内の旧荒川町の水田で撮影に成功しました。昨年放鳥した10羽のうちの1羽で、固体番号4番の雌のトキだそうです。本州を飛び回り宮城県角田市にも姿を現しています。

佐藤さんはその日の朝、友人から「トキが来ているぞ」と知らされたそうです。居ても立ってもいられず仕事を早めに切り上げて、望遠レンズ付の一眼レフデジタルカメラを

買い求め、現場付近に駆けつけました。すでに飛び去ってしまっているかとの不安もあったそうですが、午後4時過ぎに発見、100メートルほど離れた距離から撮影することができました。「美しい羽の色が目には焼きついている」と感動していました。

NGP協同組合員は使用済自動車の適正処理という業務を通じた環境貢献はもとより、一人ひとりが日常生活における環境や自然保護にも関心を持ってさまざまな活動に取り組んでいます。

NGP 今月のCO₂削減量

NGP平成21年3月: **7,946t** (全12団体計: **14,031t**)

1月からの累計: **23,016t** (全12団体計: **41,171t**)

NGPをはじめとしたリサイクル部品販売業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO₂の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。



支部選出理事に聞く 第5回 北陸支部 山田彰理事

参加意識を高める運営で全員が役割分担 メリハリつけて本部方針を全力で遂行 不満な点は小さくまとまり過ぎてしまうこと

北陸支部はまとまりが良い支部です。本部役員、支部役員の役割分担を振り分けて、全員参加型の運営を心がけるなど、参加意識を高める工夫もしています。勉強会に、懇親会にとメリハリのある取り組みが際立ちます。

一課題を教えてください。

「これという課題は見当たりません。損保様などからの使用済車両の仕入れは、組合員それぞれが自社でしっかりやっています。逆にスクラップに関しては個社の努力でどうにかなる問題ではありません。またNGP協同組合の本部がやろうとしていることに関しては、全員でまじめに取り組んでいます。団結は強いのです。強い課題を挙げれば、支部単独で小さくまとまりすぎてしまうことかもしれません。他の支部から合同例会を申し込まれることはありますが、こちらから出かけることはありません。こうしたことも含めて、支部のカラーをどう打ち破るかは、ひとつの課題と言えるでしょう」

一部品生産の数字は上がっています。

「本部方針に沿って北陸支部の全員が頑張っているので部品生産の数字は伸びています。生産した部品を100%売り切るようにしたいと思っています。中高年式の車両が入手しづらいこともあるので、古い車の中からもきれいな部品を作ってお客様に提供したいと努めています」

一数字を上げる秘訣はあるのですか。

「特別なことはしていません。会議の前に資料を作って生産・販売の勉強会は真剣に取り組む、切磋琢磨しています。各社の部品総売上が自社の記録を更新すると罰金です。記録更新で罰金はおかしいと思われるかもしれませんが、例えば仲間が作ってくれた部品があるから販売が伸びるわけです。仲間に感謝の気持ちを表わすための罰金です。仲間意識が強く、懇親会の参加も半強制的です。NGP協同組合の総会のときは総会会場のホテルでボーリング大会をしました。こういうことが普段からできて

いるので、支部のまとまりができるようです」

一教育担当の理事としては。

「教育委員会の岩井委員長を補佐し、全体を俯瞰してサポートするのが役割だと思っています。教育内容は委員長を中心にいろいろと考えて工夫してもらっていますので、信頼しています。経営環境が厳しいときなので、組合員の負担を軽減できるように日程や回数を見直す必要はあるかもしれません」



山田 彰(やまだ・あきら) 1959年9月生まれ 49歳

第18回基礎研修会を実施

提携リビルト、生産登録賛助会員からも初参加

NGP協同組合は4月23～26日まで3泊4日の日程で東京・新木場のBumB東京スポーツ文化館で第18回基礎研修会を実施しました。NGPマンとしての精神鍛錬と社会人としてのモラルの徹底を目的とした基礎研修会に今回、提携リビルトメーカー、システム生産登録賛助会員からも参加がありました。不況の影響もあり、総勢66名の参加者でしたが、「お客様第一」などのNGP精神を周囲へと広げることができた基礎研修会になりました。

整列試験を行った3日目は冷たい雨となりました。トヨタエコパーツ岐阜の相原雅寛さんは「寒さで体を震わせながらの整列試験



野外で行う整列試験は土砂降りの雨の中

では体力がどんどん奪われ、その後のアーリーナのラジオ体操試験では細かいミスの連続で班内のムードが極限にまで追い詰められました」と振り返ります。その逆境から班の気持ちがひとつになったときに試験に合格、「気持ちを前面に出せば相手に伝わるのだということがわかり、それに気づくことができた仲間と出会えたことが研修の一番の成果」と話しています。

デックの伊藤嘉茂さんも「体力的に、精神的にも自分を追い込んで心が折れそう」になったと言います。必死になって試験に合格したとき、大きな達成感を得るとともに講師に言われた「できるかできないかではなく、



終了式の最後にNGPソングの大合唱で締め、仲間入りを果たす



全員が合いそうで合わない。もどかしさにじむ

やるかやらないかだ」という言葉を心に強く刻むことができたそうです。

こうした成果が、「組織の中で埋もれることなく、自分自身もリーダーの1人であることを自覚し、日々の業務に励みます」(共伸商会、佐藤慎也さん)、「自分に持たされた計画をその日のうちに達成させ、さらにプラスしていきます」(石上車輛、森翔平さん)、「この研修で学んだ強い意志を持ち、自分の願望や目標を実現させるよう仕事や私生活で活かします」(アートパーツ長野、清沢主蔵さん)、「会社全体をまとめ、一丸となり、道内、国内の補修部品トップ店を獲得する」(辻商会、金岩孝憲さん)といった決意につながっています。

リビルトメーカー交歓会を開催

生産品質強化と積極販売を目指して意見を交換

株式会社NGPは17日、東京都品川区のゆうぼうとで提携リビルトメーカー交歓会を開きました。NGP協同組合のネットワークに商品を提供しているリビルトメーカー12社が参加して、さらに円滑にリビルト部品を供給し販売するための方策、要望に関して活発な意見交換を行いました。

参加メーカーは、ジャパンリビルト、松井製作所ウラワ産業事業部、日本ウエア・ハウス、



場所を移した懇親会の席ではなごやかな中にも真剣な議論が交わされた。

信越電装、イトーパーツ、KSS、コーヨー、ターボテクノサービス、アライ電機産業、BRE関東、フジリンケージ、デルオートの各社。株式会社NGPからは大橋岳彦社長、青木勝幸会長をはじめとする役員とNGP協同組合の理事が出席しました。

交歓会の冒頭、大橋社長は「短い時間ではありますが率直に意見を出し合いたい。リビルトメーカーの皆様には商品を充実させていただきたいし、我々に対する意見があれば率直に受け止めたい。良い関係を保ってリサイクル部品販売の拡大につなげたい」などと参加メーカーに呼びかけました。

参加メーカーは近況を報告、売り上げの伸び率は全社平均に対してNGP扱いの方が高くなっているというメーカーが大勢を占めました。また、時期は各社によって多少の違いはありますが、4月以降にリビルト部品販売のキャンペーン実施を計画していると



「短い時間を有効に」との大橋社長挨拶で意見交換はスタート

の発表もありました。

会議では提携メーカーを増やすための情報交換なども行ったほか、NGP協同組合からは「価格で負けてしまって、提携リビルトメーカーの品物でも売ることができないケースが起きている」といった指摘から「リビルト部品は品質がよいものとユーザーが期待している。とにかく品質のよいものを提供してほしい」といった要望など、売る側の立場での率直な意見を述べました。

関西支部が大石名誉顧問宅を訪問

原点を訪ねNGPの原動力を注入

NGP協同組合関西支部は、4月10日に組合員11名全員そろって大分県別府市の大石一彦名誉顧問宅を訪問し、NGP協同組合の創業の精神に触れました。大石名誉顧問は一人ひとりに声をかけられ、「力を合わせて頑張してほしい」と励ましました。

関西支部の組合員は世代交代が進みNGPを創業した大石名誉顧問と接したことがある

組合員は4名になりました。中古部品の原点に戻ることが問われる中で、NGP創業の精神の一端に触れることを目的に今回の企画を立てたものです。午前中に訪問し、午後は九州支部との合同会議を行いました。河村武志関西支部長は、「本当に励みになりました。参加者全員が感激し、明日の力をもらうことができた良い機会になりました」と話しています。



大石名誉顧問の創業の精神に触れ、元気をもらった関西支部組合員

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
南関東	株式会社ユーアンドアイ	会社代表	代表取締役 中山 登志夫	21年4月10日
中四国	株式会社桃太郎部品	住所表示	〒701-0145 岡山県岡山市北区今保577 (岡山市の政令指定都市移行による行政区(北区)の設置)	21年4月1日
中四国	ウエイクパーツ	住所表示	〒700-0956 岡山県岡山市南区当新田396-1 (岡山市の政令指定都市移行による行政区(南区)の設置)	21年4月1日

訃報

4月9日、有限会社トキオ商会(千葉県佐倉市)保川弘実代表取締役のご母堂、保川澄子(やすかわ・すみこ)様がご逝去されました。享年78歳。
4月16日、株式会社オートセンターNAO(福島県会津美里町)鈴木博次代表取締役社長のご尊父、鈴木辰夫(すすき・たつお)様がご逝去されました。享年85歳。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

(株)NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201